堀口（日光SC）無欲の栄冠　男子

スーパー大回転

表彰を受ける堀口（中央）＝福島県猪苗代町

滑り果敢、報われた苦労人　堀口

スーパー大回転で県勢初の日本選手権王者となった堀口直暉（日光SC）は「今まで感じたことないほどのうれしさ」と喜びを表現した。何度も全国の舞台を経験してきたが、入賞すら初めてという苦労人。「やっと報われた」と感慨にふけった。

コースは中盤から終盤にかけて長めの緩斜面が続く。得意なコースで「これは有利」と見るや、恐れずにトップスピードで突っ込んだ。「スピードに乗り過ぎて目がついてこなかった場面もあった。小さいミスも多かった」と言うが、勝負の分かれ目をきっちり抑えた。

ヒーロー

宇都宮市でジムトレーナーとして働く。ダイエット指導などを行っていくうちに自身の体とも向き合い始め、肉体改造に取り組んだことも奏功した。「中学、高校時代は下半身のけがに泣かされた」という苦い経験から、徹底的に下半身を鍛え「一瞬の爆発力が付いた」と勝因を挙げた。

昨春、法大を卒業し、同時に競技からも身を引いた。しかし前年度の成績で決まる日本ランキングが出場圏内だったことから「記念に出てみよう」とエントリー。「頑張り過ぎてしまう性格だからこそ、この楽な感じが良かった」と笑った。

「もったいないかな」と優勝を機に引退を一時撤回。日本一の称号を手に「ゆくゆくは子どもたちにスキーを教えたい」と夢を語った。（湯田大士）

県勢女子は鈴木（青学大）6位

スキー　全日本選手権

アルペンスキーの第101回全日本選手権大会は1日、福島県の猪苗代スキー場で男女のスーパー大回転（1回）を行い、男子の堀口直暉（日光SC）が1分7秒18で県勢初の頂点に立った。

県勢は堀口のほか4人が出場した。女子の鈴木英（青学大）が1分9秒47で6位入賞を果たした。

男子の大貫零旺（日大）は30位、中島賢伸（明大）が59位、女子の鈴木杏（足利大付高）は35位だった。

【男子】▽スーパー大回転　①堀口直暉（日光SC）1分7秒18　㉚大貫零旺（日大）1分8秒99　59中島賢伸（明大）1分10秒33

【女子】▽同　⑥鈴木英（青学大）1分9秒47　㉟鈴木杏（足大付高）1分12秒50

堀口（日光SC）県勢初V

全日本スキー男子スーパー大回転

堀口直暉

アルペンスキーの第101回全日本選手権大会は1日、福島県の猪苗代スキー場で男女のスーパー大回転（1回）を行い、日光市出身で足利工大付高（現足利大付高）出の堀口直暉（日光SC）が男子で初優勝を飾った。同大会で県勢が頂点に立つのは初めて。

（12面に関連記事）

大会には男子120人、女子54人が出場。全長1628メートル、標高差390メートル、旗門数33というダイナミックなコースに挑んだ。堀口はスピードに乗った滑りで中盤に大きくタイムを伸ばすと、1分7秒18でフィニッシュ。2位の選手に0秒17差で競り勝った。

このほか県勢は本県出身大学生2人と県連盟2人が出場。同校出身で女子の鈴木英（青学大）が1分9秒47をマークし6位入賞を果たした。（湯田大士）